

3月6日は啓蟄^{けいちつ}。寒さが緩んで、冬眠していた虫たちも穴から出てくる頃と云うことです。この頃に「春一番」と呼ばれる強い南風が吹きます。新しい季節の訪れを告げる季節風です。今年度はインフルエンザによる学級閉鎖をしたクラスがあり、心配しました。引き続き、手洗いやうがいをしっかり続け、予防に努めてください。

まもなく今年度も終わろうとしています。もうすぐ6年生は中学生に、1年生から5年生は進級と、新たなステップが待っています。しめくくりの3月を健康に過ごし、4月からの新しいスタートに備えていただきたいと思います。



花粉症の低年齢化

2月に中旬より学校でも鼻水や鼻づまり、目の痛みやかゆみを訴えて保健室へ来室する児童が増えてきました。以前は大人の病気と言われていましたが、気象情報会社のアンケートによると、花粉症の低年齢化が進み、平均7.4歳という結果が出ています。

なぜ花粉症になるのか？



花粉は人間のからだにとって、特に悪いものではないのですが、からだを守る仕組みである「免疫」が、花粉を悪いものとみなして、鼻水やくしゃみ、なみだを外に追い出そうとするからです。

どうすれば予防できるの？

マスクをすると、吸い込む花粉の量を3分の1から6分の1に減らせます。また、花粉がつきやすいのは、顔や手なので、外から帰ったら、うがいをしたり、顔を洗ったりしましょう。さらに、次の点についても気をつけてください。

かぜをひかないようにする。（かぜをひくと症状が悪化します。）
薬は決められた用量や用法を守って服用する。自分の薬を他の人にあげたり、人の薬をもらって飲んだりしない。



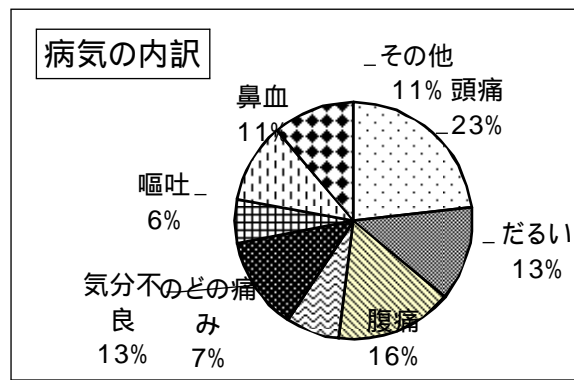
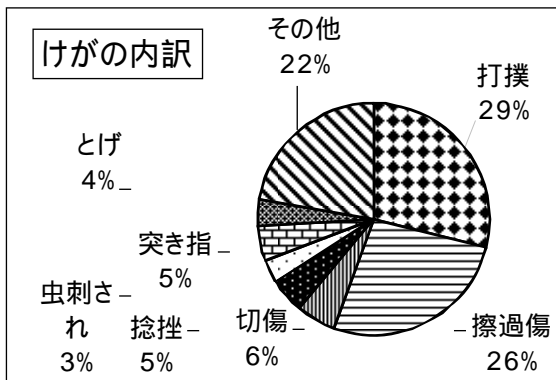
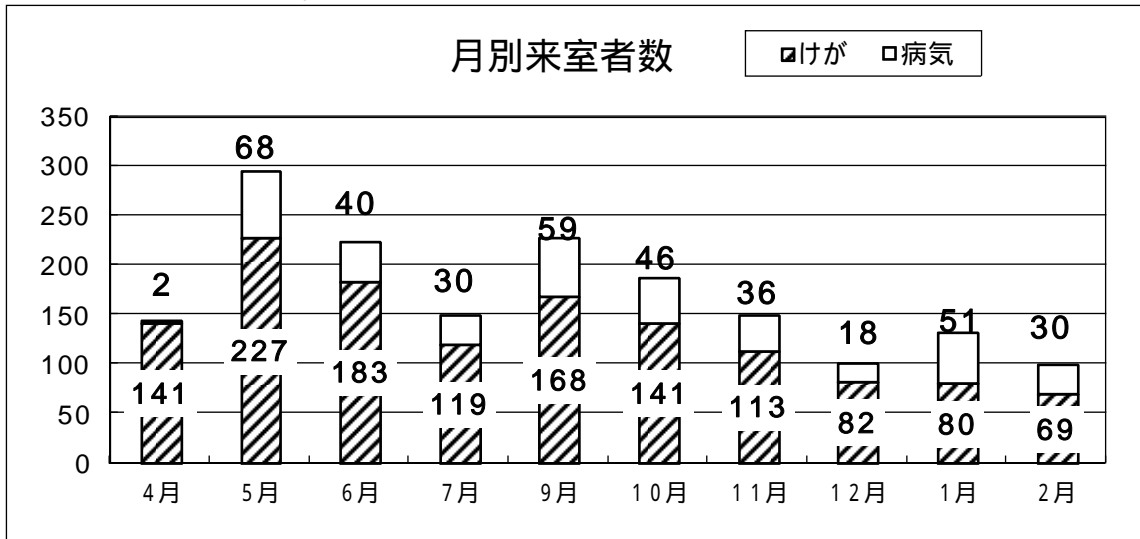
男子	体重 (kg)		
	4月	1月	増加
1年	21.9	24.1.8	2.2
女子	身長 (cm)		
	4月	1月	増加
1年	115.4	119.5	4.1

1月身体計測の訂正

ほけんだより2月号に身体計測の4月と1月の比較を掲載いたしましたが、1年生男子の体重が9.9kgの増加となっていました。また同じく1年生女子の身長が0.2cmの伸びとなっていました。訂正してお詫び申し上げます。

1年間の保健室の利用状況

昨年の4月から2月27日までに、述べ1,827人の児童が保健室に来室しました。一人平均3.7回です。



曜日別に統計すると、けがをする児童は今年度も「水曜日」に多く、体調を崩す児童も昨年同様「火曜日」に多かったです。

けがをする時間帯は、昨年度と変わりなく大休憩が1番多く、次に昼休憩にけがをする児童が多かったです。

けがをする場所は、圧倒的に運動場が多いですが、次に教室です。

医療機関を受診したけが(災害報告書を申請したもの)は、昨年の4月から2月27日現在で40件です。医療機関を受診する大きなけがは年々減っていますが、運動場体育の授業中のけがの他にも、登下校中の通学路、休憩時間や放課後でのけがが、今年度は目立ちました。学級では、外での遊び方や登下校時のけがの防止についての、指導に努めていきます。

今年度は昨年度と比べ、全体の来室者数は約2分の1に劇的に減少しました。子どもたちの体調管理の意識の高まりによるものと考えられます。保護者の皆様の体調管理へのご協力感謝申し上げます。

春休みも規則正しい生活を送り、元気に新しい学年を迎えてほしいと思います。また、新年度も、井口台小学校の子どもたちが健康に学校生活を送ることができるように、支援していきます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。